

---

# 立派さ

トマト嫌い

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

立派さ

### 【コード】

N0747H

### 【作者名】

トマト嫌い

### 【あらすじ】

立派さを追い求めていわれるままにやってきた。それで手元には何が残った・・・？

(前書き)

詩です。作曲のための詩として作った作品です。  
曲が作れなかったため作曲は断念!!  
誰か代わりに曲つくってください(笑)

今まで言われるままにして  
立派になれと言われ

すべてを捨てて育つてきた

友達も捨てた

好きなことも捨てた

大人になつた俺は気づいた

それで何が楽しいんだい？

今スーツを着ている俺が

はたして立派な人間に見えるかい？

今スーツを着ている奴のうち何人が

立派な人間に見えるんだい？

それでも俺は立派な人間でいるさ

それすらも俺の独りよがり？

俺の立派という言葉は

俺の妄想でしかない？

もしできるなら

俺の人生に終止符を打ちたい

人に言われるまま歩んできた

この道に未練などない

立派になれといった人は

今のおれをほめてくれた

それがなんなんだい？

ただそれだけでしかない

その人に褒められるために

俺はすべてを捨てたわけじゃない  
この思いを分かち合う  
仲間すらない  
自分の道を歩むのが正しかった  
いまさら気づいたって遅い  
もう引き返せない

さして目立ったことはない  
際立って得意なこともない  
今のおれは自分を立派と思いきこんでる  
たちの悪い半端ものさ  
もしできるなら  
この人生をやり直したい  
人に歩まされてきた  
この道に未練などない

大きく息を吸い込んで  
たった一人で  
いつもと同じ方向へ歩き出す  
一人のはずの僕の隣を  
歩いている君は誰だい？

道を引き返すんじゃない  
大きく転進するんだ  
ひとつだけ未練が残ってしまった  
もう引き返すわけにはいかない  
立派さなんてかっこいいだけの  
言葉は捨てよう  
君になら心を開けるだろう

道を引き返すんじゃない

大きく転進するんだ

役にも立たない言葉を

捨てて初めて気づいたよ

どれだけ身も心も軽くなるかを

さあいまからでも進みなおそう

自分の道を

右へ？左へ？

それはわからない

でもただ進んでいこう

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n0747h/>

---

立派さ

2010年11月4日13時30分発行